

17th Science and Technology for Art

第17回 芸術のための科学技術

日時：2013年4月12日（金） 13:00-16:00

場所：公益財団法人応用科学研究所（京都府京都市左京区田中大堰町49）

京都大学工学研究科先端イメージング工学研究室は2013年2月に吉田キャンパスから桂キャンパスに移転いたしました。時期を同じくして、より広くこれまで開発した技術を公開し研究活動を促進することを目的に、公益財団法人応用科学研究所に研究室の分室を設けました。

「芸術のための科学技術」は、京都大学工学研究科先端イメージング工学研究室がシリーズで開催し、これまで国内外から文化財保存や修復の専門家、文化財科学・文化財工学・材料工学などの研究者、文化財分析装置やソフトウェア開発者に参加頂き、文理の壁をこえた講演・意見交換を行ってまいりました。

第17回「芸術のための科学技術」では、京都大学工学研究科先端イメージング工学研究室の研究活動を紹介し、京都の持つ地域性を最大限に生かした文化財に関する研究をとおして、先端イメージング技術が可能とする文化財の科学的分析、保存と活用、そして文化財の未来への継承に向けた課題について検討する機会としたいと思います。

時間	プログラム
12:45	開場 公益財団法人応用科学研究所 3号館2階会議室 * 研究所正門を入ってすぐ左側
13:00-13:15	挨拶 西川 禎一 公益財団法人応用科学研究所 理事長
13:15-14:00	先端イメージング工学研究室における研究活動 井手 亜里 京都大学工学研究科 村山 雄亮 京都大学工学研究科
14:00-15:00	二条城行幸図屏風の分析イメージングプロジェクト 廣川 守 泉屋博古館学芸課 課長 実方 葉子 泉屋博古館学芸課 主査
15:00-15:45	高精彩スキャナを用いたデモンストレーション 4K ディスプレイを用いた高精細画像の表示
15:45-16:00	質疑応答

事前登録、お問い合わせ先： ide.ari.4n@kyoto-u.ac.jp